

## 平成 29 年度災害ボランティアネットワーク会議を開催しました。

平成 29 年 6 月 6 日（火）、県内市町社会福祉協議会、市民活動センター等中間支援組織、県域で災害支援を行う団体、行政等が、平時から連携し合う体制を構築することを目的として、「災害ボランティアネットワーク会議」を開催しました。

本県でも大きな被害を受けた平成 27 年関東・東北豪雨災害、また平成 28 年熊本地震等、複数市町村で広域的に被災する災害が多発しております。多くの個人・団体によりボランティアな支援活動が展開される中、地域によって支援が十分でないところが生じたり、その内容に偏りが見られたりすることが課題となっております。

本会議では、はじめに基調講演として、**特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）事務局長の明城徹也氏**に、同団体の取組みや昨年度の熊本地震への対応等のお話をいただきました。広域で複数市町村が被災する場合を想定し、NPO・NGO を含めた各支援団体が各々の活動内容を共有することにより、支援のヌケ・オチ・モレ・ムラを防ぐことができるといったお話をいただきました。

これを踏まえて、参加者で支援の偏りを防ぐために必要な視点を得ることを目的として、グループワークを実施しました。参加者は、各々の団体が支援できる内容について、人材・物資・資金・情報といった区分で整理しながら情報交換を図り、ヨコの繋がりを強化することができました。

最後に、明城氏からグループワークの講評と本県の災害支援に関するネットワーク強化への期待が述べられました。本会としても、本会議の内容を今後の訓練や研修会に生かし、本県の防災・災害対応を含めたボランティアな活動の発展・強化に努めていきます。



（講師をつとめた明城氏）



（講演を聞く参加者）



（グループワーク）